



北海道では、平成20年7月に開催された「北海道洞爺湖サミット」を契機として、道民一人ひとりが地球温暖化防止に対する理解と意識を深めるための日として、7月7日を「北海道クールアース・デイ」と定め、7日を中心として全道各地で普及啓発を行っています。

道庁赤れんが庁舎では、家庭や職場などそれぞれの活動の場において、ローソクの光の中で、地球環境のこと、未来のことを静かに考えるきっかけとしていただくため、7月7日（火）に「赤れんがガイアナイト」を開催しました。



☆JAL環境教室☆

日本航空の阿部泰典さんを講師としてお招きし、上空1万メートルからみた地球の姿などをご紹介いただき、JALグループの環境活動についてお話いただきました。



☆キャンドル点灯式☆



約500個のキャンドルをレイアウトし、山谷副知事、札幌大谷大学芸術学部音楽学科の学生とともに、参加者の皆様と一斉にキャンドルを点灯しました。

☆コンサート☆

札幌大谷大学芸術学部音楽学科の皆さんに、「星に願いを」など、ガイアナイトにふさわしいクラリネット六重奏による素敵な演奏をしていただきました。

